

ブリヂストン製タイヤふくらみ問題に係る説明資料

首記の件、ブリヂストン製タイヤふくらみの問題として指摘を受けた事例として下記に記載します。
 この指摘事案については問題がないことを理解して頂きたくよろしくお願いいたします。

下記の写真よりタイヤの両サイドに膨らみがあるとの指摘がありました。

タイヤのつなぎ目部分で他の場所より剛性が高くタイヤの内圧でタイヤ全体が押されつなぎ目が、外に出ているのでふくらみに見えますが問題はありません。

部材剥離(セパレーション)の場合は、局部的な膨らみとなり今回の膨らみとは現象が異なります。

写真 1・

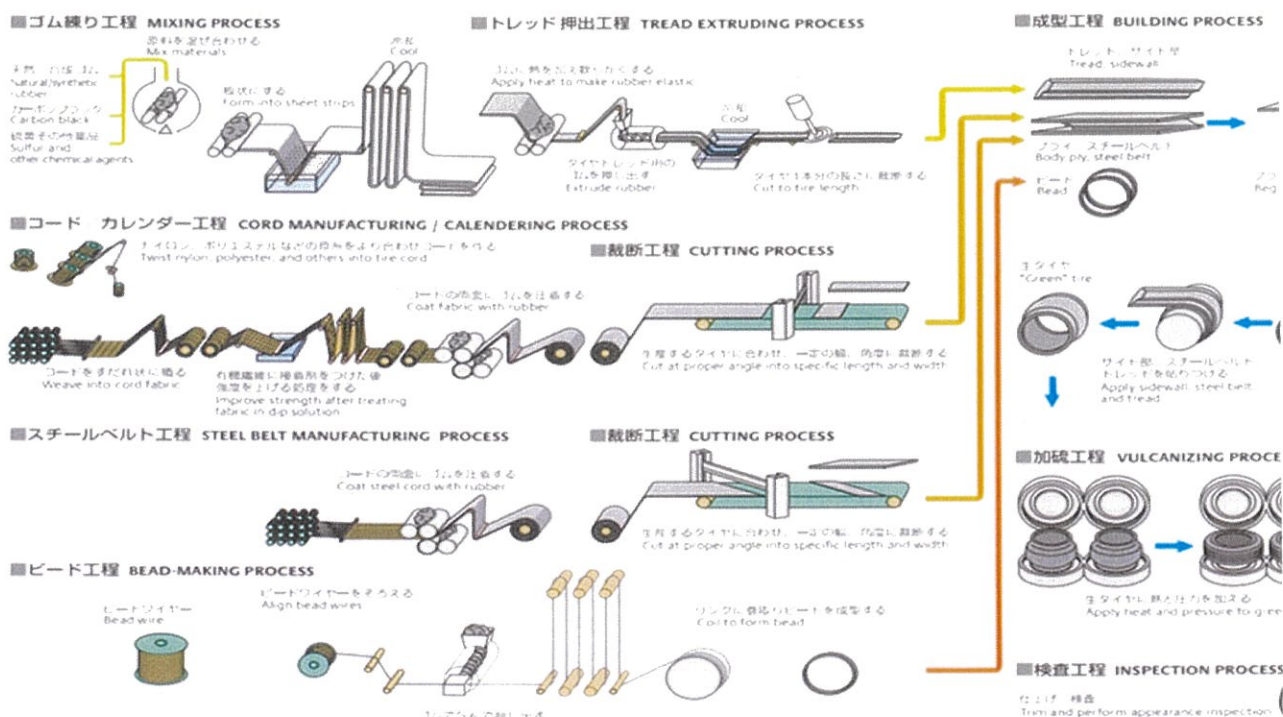


写真 2・



BRIDGESTONE
Solutions for your journey

タイヤができるまで... (乗用車用ラジアルタイヤの場合) Production process for a passenger car radial tire



過度のタイヤの歪

タイヤを

- ・指定空気圧以下の低空気圧
- ・規定荷重を超えた過荷重

で使用するとタイヤの歪が増加し、
損傷の原因となります。

さらに、低空気圧や過荷重状態で長期間使用
すると、ゴムの特性変化や、疲労の蓄積により、
タイヤは損傷しやすくなります。

適正空気圧
適正荷重



低空気圧
過荷重



**損傷
発生**

膨れなどの変形や吹き抜けが発生します。



**低空気圧や過荷重な状態で長期にわたり
使用されたタイヤは交換を推奨します。**